

| | | | |
|--|--|------|------------|
| ≪阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業≫ 介護サービス事業所部会【報告書】 | | | |
| サービス種別 | (看護)小規模多機能型居宅介護事業所部会 | | |
| 開催日時 | 令和6年9月17日(火) 11:00~12:00 | 開催場所 | 阿南市役所202号室 |
| 部会代表者 | 木村 | 報告者 | 木村 |
| 議題 | ①身寄りのない利用者の契約・利用について ②医療従事者(医療センター・研修医・Ns等)による介護施設見学ツアーについて | | |

| | |
|--------|--|
| 議題① | 身寄りのない利用者の契約・利用について |
| 検討した項目 | 1. 契約の時点で三者契約等により支障があったか。 2. 三者契約の形式をとっている事業所の割合はどのくらいあるか。 3. サービス利用中の方で身寄りのない事で支障になったことはあるか。 |
| 検討内容 | 1. 基本的に三者契約の保証人が決まらずに契約できなかった利用者はいない。空白で保留状態でも契約しサービスを開始してる。サービス利用開始時にはそのような場合はお世話センターや社協などすでに関わってくれる機関があり個人的に相談ある場合はなかった。 2. ほとんどの事業所が三者契約の様式を適用しており、家族同意、署名欄(保証人必要ではない)のみの事業所はほとんどいなかった。 3. 大変な事や課題はあるが利用中に成年後見人や日常生活自立支援事業に繋いでいる。 |
| 結論 | 身寄りのない利用者の契約・利用について、出席した10事業所の全てにおいて身寄りのない事でサービスを受けることができなかった事例はなかった。また、お世話センターや社協など関わってくれる機関や友人の支援などで完全に身寄りのない状態の方自体がいなかったという結果となる。 |
| 残された課題 | 今後は完全に身寄りのない方のケースも増えてくることが考えられるため、各機関や地域との関り、連携を各事業所で取り組んでいく必要がある。 |
| 備考 | |

| 議題② | 医療従事者(医療センター・研修医・Ns等)による介護施設見学ツアーについて |
|--------|--|
| 検討した項目 | 1. 見学ツアーの概要の説明。 2. 医療センター見学ツアーの報告。3. 見学施設候補の希望確認。 |
| 検討内容 | 1. 医療従事者(Dr.Ns.研修医等)で構成されたチームが各介護保険サービス内容の理解を深めるために見学ツアーを行う。また、医療と介護のスムーズな連携を図るため見学ツアーを通じて交流を深めること等を説明する。 2. 医療センター見学ツアーは普段見る事ができない区画や組織の機能または設備などを見学し医療センターの機能や役割の理解を深めることができた。 3. 見学施設候補は一存で決定する事が困難な状況であった。前年度の見学ツアーにおいて見学済みの事業所もあった。 |
| 結論 | 見学ツアーの候補(小規模多機能型居宅介護施設)は、第一候補:ウィズ双葉に決定。(第二候補は緑風会登子) |
| 残された課題 | |
| 備考 | その他検討事項:連携をしていく上で他の部会に提案したいことや相談はないか確認。特にケアマネ部会や老健・特養部会など。前回アンケート(透析患者対応)について、コーディネーター部会で検討中とのこと。小規模多機能型居宅介護等利用している透析患者の今後の受け入れ可能施設(入所)や対応可能な社会資源を把握していきたい。ターミナル対応についての話からACPの話に発展し、次回連絡会はACPや阿南市たまたばこの市民公開講座の研修を観覧し各事業所で周知をしていく事になった。 |

【会議風景写真】

